

今月の安全運転管理

レジャー運転 長時間の運転が 事故を招く

①行楽期の交通事故防止対策を進めよう

- こまめな休憩を呼び掛けよう
- 旅行先での飲酒運転防止を指導しよう

②春の全国交通安全運動期間【5月11日(木)～5月20日(土)】

- 横断歩道での歩行者優先の徹底



レジャー運転での こまめな休憩を呼び掛けよう

大型連休などで、多くの人が車を使用するこの時期に、が車を使用するこの時期に、

従業員に対して連休中の安全運転を指導しましょう。

連休中は多くの人が車で移動するため、渋滞や事故が発生して、予想以上に時間がかかる場合があります。遅れを取り戻そうとして、長時間の連続運転をしていると、漫然と運転や居眠り運転に陥り重大事故を起こす危険が高まります。

従業員に対して、こまめな休憩をとることを指導します。具体的には、一時間運転したら、十五分程度の休憩をとることを呼び掛けましょう。また、休憩は疲れを感じからとるよりも、疲れを感じる前にとる方が、疲労回復の効果が高いと言われています。

横断歩道での 歩行者優先を徹底させよう

春の全国交通安全運動が

じることを徹底させてください。

旅先での飲酒運転防止を指導する

飲酒運転は危険かつ悪質な違反行為であり、いかなる場合であっても決して許されるものではありません。

連休中は、管理者の日が届きにくく、気が大きくなつて「つい一杯」ということになりかねません。連休の前に、改めて飲酒運転根絶を指導しておきましょう。

安易な飲酒運転が、失職や一家離散のほか、他人の尊い命を奪うことにつながることなどを紹介しましょう。

横断歩道は歩行者優先です。横断歩道を渡ろうとしている人がいる場合は、必ず一時停止をして歩行者に進路を譲ることを徹底させましょう。

ダイヤマーマークを見かけたら、

横断歩道への接近を意識して、減速を呼び掛けておきましょう。

一方、歩行者の立場から、横断時に手をあげ渡る意思を伝える、横断中も安全確認を怠らないなどの安全対策も指導しましょう。

五月十一日から実施されます。重点の一つが「横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上」です。